

取扱いの趣旨

単なる「動脈硬化症」に対するペリシット錠は、当該医薬品の効能・効果に照らして、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】

《平成29年9月25日》

13 単なる動脈硬化症に対するペリシット錠の投与について

○ 取扱い

単なる動脈硬化症に対するペリシット錠の投与は、原則として認めない。

○ 取扱いを作成した根拠等

ペリシット錠の適応は「高脂血症の改善」に加えて「ビュルガー病、閉塞性動脈硬化症、レイノー病、レイノー症候群に伴う末梢循環障害」とされている。

上記の動脈疾患は、末梢循環障害を主要症状とする一群である。

したがって、単なる「動脈硬化症」に対するペリシット錠の投与は、原則認められないと判断した。

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

ペリシット錠（一般名：ニセリトロール）を算定しているレセプト1万件当たり、条件（動脈硬化症に対してペリシット錠を算定）に該当するレセプトレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、動脈硬化症に投与しているペリシット錠が査定となった割合

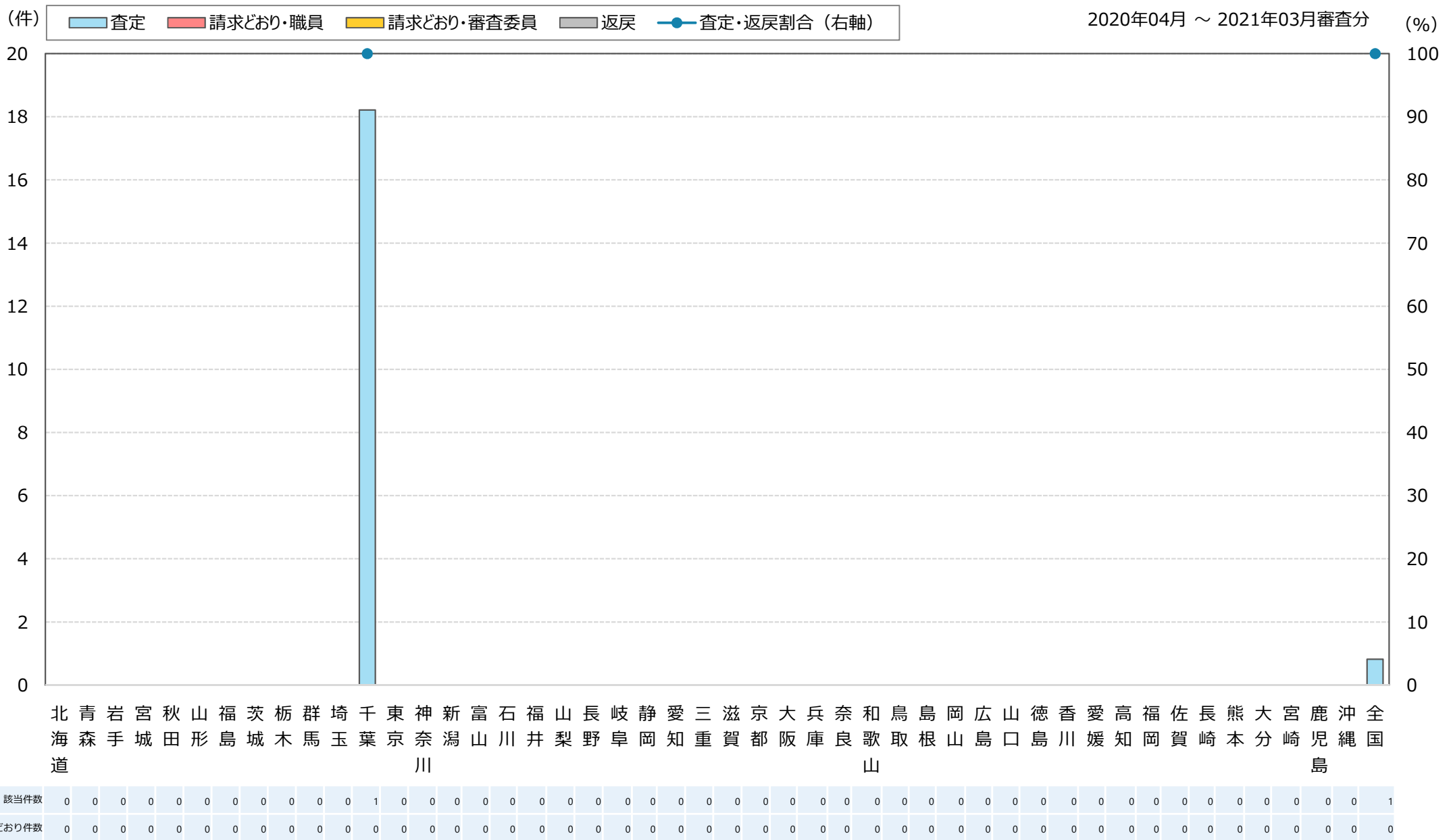
【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

➤ 該当レセプトはすべて取扱いに基づく審査が行われている

検証観点	特に検証を要する支部	備考
査定・返戻割合が低い支部	—	
請求どおり・職員	—	
請求どおり・審査委員	—	
該当件数（全国）	動脈硬化症に対してペリシット錠を算定	1 件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	1 件
検証を必要とする審査	請求どおり	0 件



【該当件数】 動脈硬化症に対してペリシット錠を算定しているレセプト件数